

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。
17ページに掲載している広報ク
イズの答えと一緒に、気ままなひ
とこと、ちょっと言いたいひとこ
とをお待ちしています。

読者の伝言板

- 天気予報に雪だるまのマークが増えてきました。今年は雪があまりいっぱい降りませんようにと願ってしまいましたが(りんごさん 49歳・手形山)
- いよいよ厳しい寒さの季節が来ました。大雪にならないことを願っております。東日本で被災され秋田に避難されているかたがたにとって、慣れない冬です。環境に十分注意されて過ごしてください(うさぎさん 72歳・保戸野)
- あつという間に師走…。あつという間に長男も4か月…。今年の夏は暑かった。この冬の雪はどうなることやら。年末ジャンボ宝くじ、久しぶりに買ってみようかな？(藤井美紀さん 42歳・桜ガ丘)
- 木枯らしが吹きはじめました。先日、近くの湯っこに行こうと山あいの道を車で走っている、木々の紅葉もやや薄れ、あちこちの柿の木の黄色に色付いた実が目に残りました。どの木も鈴なり。私たちが子どものころは、母が二股の棒で柿の実をとって食べさせてくれたことを思い起
- こし、そしてこの実はどうなるのかなあと心の中に残りました(白木武二さん 76歳・御所野)
- コインバスに乗り、出かけることが多くなりました。今度はどこに行こうかな…。気持ちも若返ったような感じがします(セツ子パーパーさん 71歳・新屋)
- わたしは土崎図書館に行ってきました。わたしが好きな本は「モンスター・ホテルでおぼけバラ」という本です。おもしろいところは、うまがシートごと、しにがみさんをベットからひきずりおとしたところ(みみさん 9歳・將軍野)
- 先日秋田市の新しい斎場を見学してきました。新しく明るく至れり尽くせりの設備にすばらしいと思いました。やがてお世話になる場所、これなら心安らかに別れできるかなと思ったりしました(鎌田裕子さん 82歳・手形)
- ノーザンハピネットが好調で、試合を見るのが本当に楽しみです。今度は有明に行け

地域の話 おしえて!!

「エリアなかいち」建設現場の壁にデザインシート 力を持ち寄って秋田の活性化を

中通一丁目の再開発エリア(愛称:エリアなかいち)の建設現場の防護壁にハタハタや山菜など、秋田をテーマにした絵がずらり…。これはあきた川反ルネサンスプロジェクト推進委員会が昨夏開催した「あきた川反電柱アート」で使用したデザインシートで、同委員会が「エリアの建設が進む中、この作品がエリア、そして秋田のPRに一役買えれば」と、中通一丁目地区市街地再開発組合の協力のもと掲示しました。「各分野の人が少しずつ力を持ち寄って街を活性化できればいいですね」と同委員会代表の北嶋正さん。分野や地域を超え、秋田市全体で協力しながら取り組んでいくことが「秋田の元気」につながっていきます。



昨夏の「川反電柱アート」。あきた川反ルネサンスプロジェクトは、川反を中心に秋田をPRする活動を続けています



「自分たちの住む街が元気になって誇りと愛着が生まれてほしい」と話す北嶋さん(デザインシートは来年4月ころまで掲示しています)



おしゃべりかわらばん



11月7日
下北手児童センターで

下北手小学校の子どもたちが化石発掘を体験。秋田大学の技術職員のみなさんが恐竜の話やクイズも織り交ぜながら楽しく指導してくれました。



化石発掘体験に参加した長谷川琉衣さん
(下北手小6年)

化石を発掘したよ！

化石(レプリカ)に付いた土を、化石を壊さないように削るのがとても難しかった！でも、だんだん化石の形がはっきりしてきて楽しかったです。魚と貝2種類の3個の化石が出てきました。またやってみたいな。



つどいに向け奮闘中

来年1月9日の新成人のつどいは、震災でボランティア活動をしたかたの講話など、新しい内容を計画中。真面目に考える内容と楽しめる内容のメリハリをつけた実りあるつどいをめざします。新成人のみなさん、お楽しみに！



新成人のつどい実行委員長を務める佐藤佳介さん(秋田大学2年)



赤れんが郷土館ボランティアの会でガイドなどを行っている伊藤久子さん(川尻)

歴史や文化を知ろう！

歴史や文化に興味があつてボランティアを始めました。お客様と交流したり、知る喜びを味わえたりするのが楽しいです。現在、企画展「秋田市なんでもミュージアム」を開催中。市の貴重な古文書や遺物を見に来てくださいね！

るよう、応援したいと思います(TJさん 59歳・八橋)

●9か月の孫娘を連れて近くの公園へ行つても、子どもの姿がまったくなく寂しいなあと毎回思います。私が娘達を育てた20年前はもつとにぎやかだったのに…。これも少子化の影響なのかなあ…(かっちゃんママさん 47歳・泉)

●子育てにやさしい設備とイベントへの助成(広報あきた11月18日号14ページ)はうれしい取り組みですね。たくさん増えると、もつと子育てが楽しくなりそうです(はなまるさん 31歳・飯島)

係からひとこと

悲し過ぎる出来事、痛いほど伝わった苦しみ、分け合った優しさ。年忘れの時期ですが、今年忘れられないことがたくさんありました。人が人を想う気持ち「がんばろう」「支えよう」「届けたい」といった言葉で伝えられ、そして返される「ありがとう」の言葉に、私たちの方が勇気をもりました。人が言葉を思い浮かべるのは、それを伝えたい人がいるから。今年を一つの言葉で表すならば、みなさんはどんな言葉を思い浮かべますか。そして、その言葉を誰に伝えたいですか。(神崎)



左から工藤さん、三浦さん、田口さん、大橋さん

●社会福祉功労者表彰

社会福祉の功労者として次のみなさんが表彰されました。

民生委員・児童委員

三浦智子さん、田口久子さん

社会福祉事業従事者

加藤多鶴子さん、工藤一子さん、遠藤ふみさん

福祉事務所職員 大橋一仁さん

おめでとう

厚生労働大臣表彰

●ボランティア功労者表彰(団体)

長年にわたりボランティア活動を率先して行っている次の団体が表彰されました。

外旭川ボランティアの会…平成7年設立。外旭川地区の老人施設で入浴後の介助、知的障がい者が通所する施設で日常生活介助、地域センター内の草取りなどを行っています。

ウィズ・ユウ…平成7年設立。地域活動支援センター「やすらぎの家」で、行事の際の食事作りの手伝いや、利用者の外出時の付き添い・日常生活介助などを行っています。



外旭川ボランティアの会(左側)とウィズ・ユウのみなさん